

令和 8 年 2 月 1 日

患者様各位

立春を迎えるとは名ばかりで、まだまだ寒い日が続いていますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

2 月は一年の中でも特に冷え込みが厳しい季節ですが、同時に少しずつ春の息吹が感じられる月でもあります。凍えるような朝に外へ出ると、澄んだ空気の中にやわらかな日差しが差し込み、「冬も終わりに近づいているのかな」と感じる瞬間があります。街路樹の枝先には小さな芽が顔を出し、季節は静かに次のステージへ進んでいるようです。



さて今年は冬季オリンピックが開催され、世界中の選手たちが氷上や雪の舞台で最高の演技やレースを繰り広げています。結果だけでなく、その舞台に立つまでの積み重ねや、競技後に見せる笑顔や涙には、人としての強さや葛藤、そして支えてきた人々の存在が感じられます。私たちはテレビ越しにその姿を見ながら、自分の日常にも通じるものを感じるのではないのでしょうか。

もちろん私たちには大観衆の前に立つ機会はほとんどありませんが、毎日の生活の中にも小さな挑戦や努力があります。健康管理や生活習慣の見直しも、一度に完璧を目指す必要はなく、「無理なく続ける」ことこそが何より大切です。少しの積み重ねが、やがて確かな変化へとつながっていきます。

寒暖差が大きく体調を崩しやすい季節です。どうぞ温かくして、穏やかな 2 月をお過ごしください。春はもう、すぐそこまで来ています。

今後も引き続き、「患者様第一」を心がけ、質の高い医療を提供すべく、診療に遺漏無きよう努めてまいります。何卒よろしくお願いいたします。



医療法人社団茅ヶ崎セントラルクリニック

院長 仙賀 裕